

クレイジー・キラー／悪魔の焼却炉 (1969)

HATCHET FOR THE HONEYMOON
IL ROSSO SEGNO DELLA FOLLIA

メディア 映画

ジャンル ホラー

製作国 スペイン／イタリア

時間 90分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

花嫁姿の女性を殺害する連続殺人鬼。彼は自分を殺人に駆り立てる過去の記憶を探りつつ、殺人を繰り返している。ある日、彼は激情に駆られて妻を殺してしまう。死体を焼却炉で灰にし、何一つ証拠を残さなかったものの、なんと妻の亡霊が付きまとい、彼を悩まし始めた……。前半と後半で話が真っ二つに別れている妙な作品。生前からネチネチと旦那をいじめてきた奥さんが殺されてもなお旦那を悩ます後半に意図せざるユーモアがあり、凡庸な前半の展開を救っている。この後半で主人公が殺人を繰り返すようになった過去の秘密が明らかにされるが、さしたる驚きはない。亡霊対殺人鬼という展開に興味が移ってしまった後となってはもうどうでもよくなってしまう。カメラマン出身のバーヴァが自ら撮影を担当しているが、かつての流麗さは希薄（ちなみに息子のランベルトが助監督やっています）。

【クレジット】

監督	マリオ・バーヴァ	Mario Bava
製作	マヌエル・カーニョ	Manuel Cano
原案	サンチャゴ・モンカダ	Santiago Moncada
脚本	サンチャゴ・モンカダ	Santiago Moncada
	マリオ・ムージー	Mario Musy
撮影	マリオ・バーヴァ	Mario Bava
音楽	サンテ・ロミテッリ	
出演	スティーヴン・フォーサイス	Stephen Forsyth
	ダグマー・ラッサンダー	Dagmar Lassander
	ラウラ・ベッティ	Laura Betti
	ジェラルド・ティシー	Gerard Tichy